

各 位

会 社 名 株式会社オリエンタルコンサルタンツホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 野 崎 秀 則
 (東証スタンダード市場・コード番号 2 4 9 8)
 問合せ先 取締役統括本部長 橘 義 規
 T E L 0 3 - 6 3 1 1 - 6 6 4 1

株式会社オリエンタルコンサルタンツ 生活道路の交通安全対策導入を支援するARツールを開発 ～対策導入後の道路空間を可視化し、対策検討・合意形成を支援～

当社グループの主要な事業会社である株式会社オリエンタルコンサルタンツ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：野崎秀則）は、福岡大学工学部電子情報工学科 小野晋太郎准教授と共同で、AR（拡張現実）技術を活用し、生活道路における交通安全対策導入後の道路空間イメージを可視化するツールを開発しました。

令和 8 年 9 月 1 日より、中央線や車両通行帯等が設けられていない一般道路、いわゆる「生活道路」を中心に、自動車の法定速度が 30km/h に引き下げられるなど、歩行者等の安全確保に向けた取組が一層進められています。また、生活道路の安全性を高めるためには、速度規制に加え、ハンプやボラード等の物理的な対策を地域の状況に応じて適切に組み合わせていくことが求められます。こうした対策を進める上では、行政担当者だけでなく、地域住民をはじめとする関係者が、対策によって道路空間がどのように変わるのかを具体的にイメージし、認識を共有することが重要となります。

このたび開発した本ツールは、スマートフォンやタブレット端末を通して、ハンプやボラード等の交通安全対策を実際の道路空間に重ねて表示し、対策実施後の道路空間を直感的に確認できるものです。これにより、行政担当者による対策内容の検討や、地域住民をはじめとする関係者への説明・合意形成を支援し、生活道路における交通安全対策の円滑かつ効果的な推進に寄与します。

1. 開発ツールの概要

本ツールは、現地の道路空間にスマートフォンやタブレット端末をかざすことで、ハンプ、ボラード、歩車道境界ブロック等の交通安全対策の導入イメージを実際の道路空間に AR で重ねて表示するものです。Web ブラウザ上で利用できるため、専用アプリのインストールを必要とせず、業務用の共有端末や地域住民のスマートフォン等でも手軽に利用できます。

生活道路の交通安全対策では、これまで図面や写真等を用いて対策内容の検討や関係者への説明が行われてきましたが、本ツールの活用により、実際の道路空間上で対策の導入イメージをより具体的に確認することが可能になります。これにより、行政担当者による対策内容の検討に加え、地域住民や関係者への説明など、対策の検討から合意形成まで幅広い場面での活用が期待されます。

＜可視化ツールの概要＞



写真-1: スマートフォンでの操作画面

2. 開発ツールの特徴と活用場面

本ツールでは、生活道路の交通安全対策として用いられる複数の対策施設を AR 上に表示し、実際の道路空間との位置関係や設置後のイメージを即時に確認、記録、共有することができます。

主な活用場面として、以下を想定しています。

- ・ 現地における交通安全対策の配置や設置イメージの確認
- ・ 複数の対策案を比較する際の検討支援
- ・ 地域住民や関係者への対策内容の説明
- ・ ワークショップや現地確認等における合意形成の支援

対策施設を実際に設置する前に、現地で対策後の道路空間を共有できることにより、行政担当者と地域住民等との間で、より具体的な対策検討を行うことが可能となります。

<可視化ツールの利用イメージ>



写真-2: 道路空間にAR画像を重ねて確認している様子

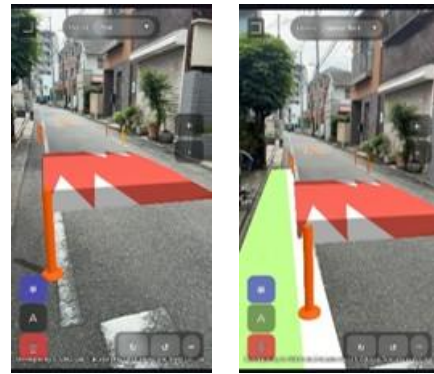


写真-3: スマートフォンで表示したAR画像

3. 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）における研究開発と今後の展開

本ツールは、内閣府の戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）の研究開発テーマの一環として、福岡大学工学部電子情報工学科 小野晋太郎准教授と同社が共同で開発したものです。

同社は、これまで培ってきた生活道路の交通安全対策に関する知見を活かし、可視化する交通安全対策メニューの検討や、行政担当者の利用を想定したツールの仕様・活用方法の検討を担当しています。福岡大学は、AR による可視化技術やユーザーインターフェース等の技術開発を担当しています。両者の知見・技術を組み合わせることで、実業務で活用しやすく、現地での説明や合意形成に資するツールの開発を進めています。

今後は、自治体担当者の交通安全対策検討や地域住民との合意形成等での活用を進め、実際の利用を通じて得られた意見を踏まえながら、ツールの改善・高度化を図ります。また、本ツールをはじめとするデジタル技術を活用し、生活道路における課題把握から対策検討、地域との合意形成までを支援することで、より安全・安心な道路空間の実現に貢献してまいります。

本発表資料には、内閣府総合科学技術・イノベーション会議の下で推進する「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第3期／スマートモビリティプラットフォームの構築」（研究推進法人：国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）（NEDO 管理番号：JPNP23023）の成果が含まれています。

以上

<本資料に関するお問い合わせ先>
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011
URL : <https://www.oriconsul.com/>
統括本部 伊藤・日原・丸山・門司